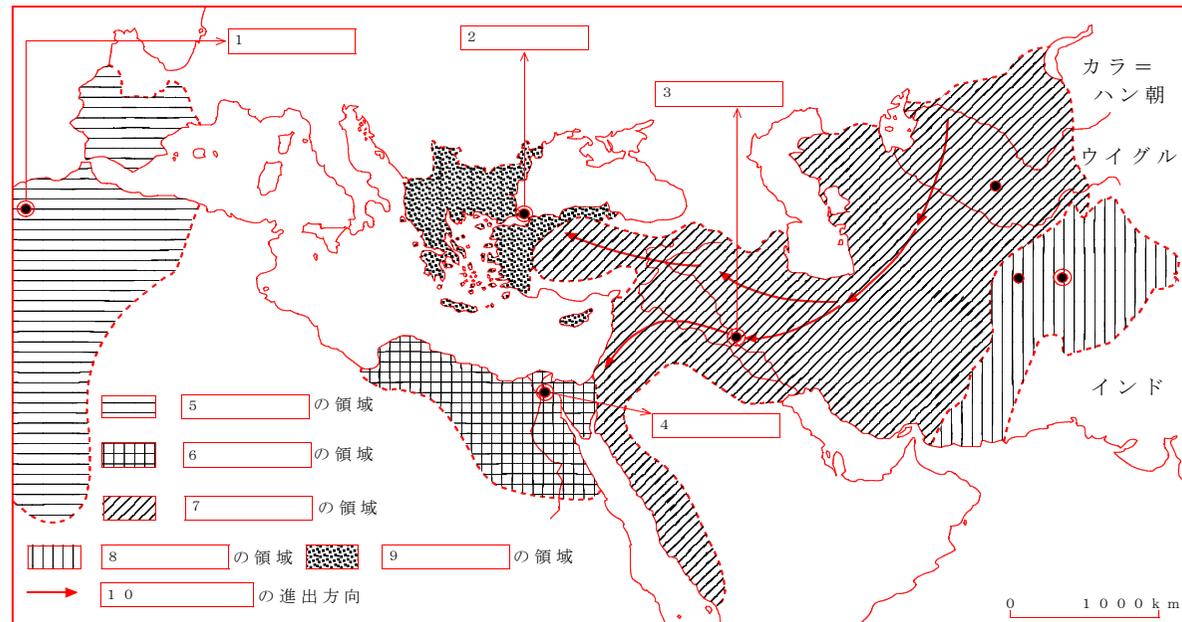


### 第5章 2. イスラーム世界の発展 b, 東方イスラーム世界とトルコ人の活躍(2)



1 11世紀後半のイスラーム世界

13世紀初め、モンゴル高原では[1 **テムジン**]が部族を統一、大汗として[2 **チンギス=ハン**]の称を得て[3 **モンゴル**]帝国をたてた、かれは[4 **東西交易路**]にそって各地に遠征、イラン高原の[5 **ホラズム**]朝を滅ぼすなど、大帝国を建設した。彼の後継者たちも各地に進出、[6 **フラグ=ハン**]はバグダードに侵入、[7 **アッバース**]朝を滅ぼし、西アジアに[8 **イル=ハン**]国を建てた。この結果、[9 **カリフ**]制は事実上崩壊した。

その後、イル=ハン国の王[10 **ガザン=ハン**]はイスラームに改宗、イラン文化を保護したため、[11 **イラン=イスラーム**]文化の全盛期をもたらした。

⑤ 12世紀半ば以降、地方政権に分裂→1194 イラン高原では[12 **ホラズム**]朝成立

⑥ 13世紀 モンゴル高原に登場した[13 **チンギスハン**]ひきいる[14 **モンゴル**]人勢力  
→ホラズム朝などを滅ぼし、巨大な帝国を建設

⑦チンギス=ハンの孫、[15 **フラグ**]=ハン、[16 **バグダード**]を占領し[17 **アッバース**]朝を滅し  
[18 **イル=ハン**]国を建国する

13c末、[19 **ガザン=ハン**]、イスラーム教に改宗・国教化=[20 **イラン=イスラーム**]文明の発達

### c.イスラーム神秘主義とイスラーム世界の拡大

① 10世紀以降、[21 **イスラーム神秘**]主義([22 **スーフイズム**])の発展  
形式的な信仰を排し、[23 **踊り**]などによって神との一体化をもとめる。[24 **聖者**]崇拜など

→神秘主義教団によるイスラーム信仰普及→貿易路に沿い[25 **インド**]や[26 **東南アジア**]などへ

②インドのイスラーム化

10世紀以降、アフガニスタンから侵入([27 **ガズナ**]朝・[28 **ゴール**]朝)…実際は支配者のみ  
→13世紀[29 **奴隸王**]朝成立以降、本格的なイスラーム王朝つづく

民衆への布教=[30 **イスラーム神秘主義**]教団による

③東南アジアのイスラーム化

8世紀以降ムスリム商人の貿易活動活発化、[31 **神秘**]主義教団の活躍  
→14世紀末マレー半島にマラッカ王国成立→[32 **インドネシア**]やフィリピン南部に広がる

### d, アフリカのイスラーム化

①最古の王国 前10世紀[33 **クシュ**]王国…ナイル川上流(首都[34 **メロエ**]など)  
→4世紀、にエチオピアの[35 **アクスム**]王国に滅ぼされる

②西アフリカ諸王国(サハラ以南)

→サハラ横断の黄金交易で栄える

(4~11世紀 [36 **ガーナ**]王国

…イスラーム(ムラービト朝)の侵入で衰える)

13~15世紀 [37 **マリ**]王国

…イスラームに改宗、[38 **トンブクツ**]の繁栄

15~16世紀 [39 **ソンガイ**]王国…

…アフリカ最初の大学創立

③東アフリカ諸王国

(1世紀末?~[40 **エチオピア**](アスクム)王国…4世紀以来[41 **キリスト**]教国となる)

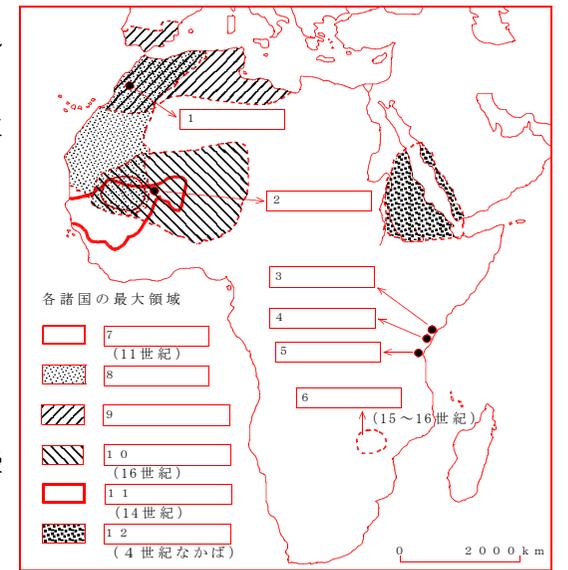
アフリカ東岸諸国…イスラーム商人との交易→イスラーム化、都市国家の繁栄([42 **スワヒリ**]文化)

④ 南アフリカ=11世紀 モノモタパ王国成立([43 **ジンバブエ**]遺跡など)←インド洋貿易が背景

サハラ以南の西アフリカ地方は[44 **黄金**]の交易で栄えていた。この地方では4世紀からすでに[45 **ガーナ**]王国が栄え、13~15世紀の[46 **マリ**]王国の時、イスラーム化した。つづく15~16世紀の[47 **ソンガイ**]王国ではサハラ以南のアフリカ最初の大学も創立された。

東アフリカでは前10世紀頃[48 **クシュ**]王国が栄えたが、4世紀、[49 **アスクム**]王国(エチオピア)に滅ぼされた。この国は4世紀以降は[50 **キリスト**]教国として栄えた。

アフリカ東岸でもイスラーム商人との交易によりイスラーム化し、アラビア語の影響を受けた[51 **スワヒリ**]語が用いられ、マリンジ、ザンジバルなどの都市国家がインド洋貿易の拠点として繁栄した。



16世紀までのおもなアフリカの諸国